



上海企業連合館完成予想図

展示 パビリオンの展示は「ヴォイス オブ 上海」「黄浦江へのアプローチ」「ロードマップ オブ 上海」「未来への旅」という四つの部分からなる。この異なる四つのセクションで、見学者は17分間のインタラクティブな体験をする。インパクトのある視覚・聴覚効果で、コンテンツと見学者が、また見学者と見学者がつながることにより、見学者に自身や上海の企業が未来の美しい生活のために背負っている責任を深く考えてもらう。

建築の特徴

上海企業連合館はエコ建築を目指し、インテリジェント技術、幻想的な雰囲気、インタラクティブな体験を楽しんでもらうのが目的だ。その建築コンセプトは「天、地、人合一」という道教の調和思想やロマンチックで哲理に富む荘子の「胡蝶の夢」からヒントを得たという。パビリオンの内部には、自由に移動が可能な立体的な基礎構造ネットワークを作り上げ、「呼吸する」エコ建築を創出する。

マジック・キューブ 上海企業連合館

敷地面積
約4000平方メートル
位置
企業館展示エリア
テーマ
私の都市、みんなの夢



マジック・キューブのイメージ図



技術的ハイライト

■エネルギーは太陽光から

パビリオンの屋上には2200平方メートルのソーラー・パネルが敷かれ、超低温発電技術を利用して、館内の展示や日常用電力を提供する。スポットライトや画面は幾重にも重なり合って点滅し、そのエネルギーは太陽光から取られる。

■リサイクル

ある統計によると、上海では毎年3000万枚以上の廃却ディスクを出しているが、25%しか回収と再利用ができていない。これらのディスクをすべて回収して処理すれば、ポリカーボネート顆粒が再産出できる。パビリオンは屋外に使われる材料にはこのポリカーボネートからできている透明なチューブを採用。万博終了後、これらのプラスチック・チューブは容易に再生・循環できる。

■ウォーター・ミストで外観を装飾

上海企業連合館周辺の雨水は回収し、沈殿、ろ過、貯蓄などの技術処理をしたあと、館内の日常用水として使える。また「噴霧」としてパビリオンの外観をより変化に富むように見せる。